| 学校番号 | 3010 |
|---|---|

令和5年度 工業（ビジュアルデザイン） 科

| 教科 | 工業 | 科目 | 工業技術基礎 | 単位数 | 2 単位 | 年次 | 1 年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 工業技術基礎（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・実習の中では製図器の使い方や図面の見方、描き方、紙の加工について学びます。
・ものづくりにおいて図面を理解することは目的のものを完成させるために重要な役割を持ちます。最終課題では学んだことを活用し、学習の効果を発揮してください。

履修条件

なし

2　学習の到達目標

⑴工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術の関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
⑵工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
⑶工業技術に関する視野をもつことをめざして自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a：知識・技術 | b：思考・判断・表現 | c：主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | デザインの分野の基礎となる図形の作図や三面図、透視図、プロポーションシステムについて関心を持ち、適切に活用する知識・技術を身に付けている。 | 紙や立体について、考察し、作図や製図の知識と技術を活用し、適切に判断し、立体造形において表現する創造的な能力を身に付けている。 | デザイン案を基に作図や製図を活用しようとする態度、粘り強く考え、課題を発見し、表現の向上をめざそうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 作図基礎 | ・製図道具の使い方<br>・図形・線分の分割<br>・多角形の作図<br>・黄金比・ルート２長方形<br>・三面図<br>・アイソメ図 | a:製図道具の使い方を身に付け、作図を理解している。<br>b:立体について理解を深め、平面で表現することができる。<br>c:提出期限を守り、意欲的に取り組んでいる。 | 観察<br>ワークシート<br>定期考査 | 観察<br>ワークシート | 観察<br>ワークシート<br>提出状況 |
| 2 | 紙立体 | 紙立体の分割と再構成<br>・デザイン案<br>・展開図<br>・モデル制作<br>・本制作 | a:製図道具の使い方を身に付け、作図を理解している。<br>b:紙と立体について理解を深め、平面で表現し、正確に作成することができる。<br>c:提出期限を守り、意欲的に取り組んでいる。 | 観察<br>作品 | 観察<br>作品 | 観察<br>提出状況<br>作品 |
| | 立体図とエアーブラシ | ・アイソメトリック図法<br>・エアーブラシ<br>・演習課題<br>・作品制作 | a:図法や作画道具に関心を持ち、立体感のある画面構成について理解し、制作することができる。<br>b:基礎的な知識や技術を身に付け、制作意図に応じて、創造的な表現方法で制作を行っている。<br>c:提出期限を守り、積極的に取り組んでいる。 | 観察<br>作品 | 観察<br>作品 | 観察<br>提出状況<br>作品 |
| 3 | テクスチャー | ・演習課題<br>・作品制作 | a:質感に関心を持ち、表面効果について理解し、制作することができる。<br>b:基礎的な知識や技術を身に付け、制作意図に応じて、創造的な表現方法で制作を行っている。<br>c:提出期限を守り、積極的に取り組んでいる。 | 観察<br>作品 | 観察<br>作品 | 観察<br>提出状況<br>作品 |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度